

# 全国のミニシアターからの力強いコメントが続々と!

楽隊の中学生が、半年間にわたる札幌のワークショップの中学生の成長ぶりと重なり、思わず涙する。人生のかけがえのない「ひと時」の体験が、こんなにも素敵なことを「楽隊のうさぎ」は語りかけてくれる。  
札幌シアターキノ ● 中島 洋

まだ何者でもない自分へのもどかしさに最初にぶち当たったのは中学の時だ。同時に、友達と一緒に過ごす時間は、まだ見ぬ自分を呼び覚ます力をくれた。そんな事を思い出していた。鼻の奥がツンとした。  
シネマテークたかさき ● 志尾睦子

涙がでた。真剣に演奏に取り組む中学生の横顔に。前を向いて生きていこうとする彼らの姿に自分のあの時期を振り返って恥ずかしくなっていた。そしていつの間にか映画のなかの仲間たちに自分が加わっていた。見終わったとき、「楽隊のうさぎ」に励まされた自分に気がついた。  
ユーロスペース ● 北條誠人

うまく表情をつくれぬ、学ランもあまり似合っていない。かつての自分でもあるような主人公の姿に最初、気恥ずかしさを感じた。でも見終わった後は、あの頃の自分が今の私を見たらどう思うか、考えずにはいられなかった。  
横浜シネマジャック&ベティ ● 小林良夫

中学時代のなんだか微妙な「あの感じ」を思い出して少し恥ずかしい気持ちになりました。でも、劇中の中学生たちに自分の同級生たちがオーバーラップして、みんな元気かなあ、とあたたかな気持ちになりました。  
川崎市アートセンター ● 中野 香

# 本屋さんスタッフからもあたたかいコメントが集まっています!

何も言わないうさぎが性根の心をつぶさに表現していることが印象強かった。うさぎは少年であり、少女はうさぎという表現が面白い。中学時代の少年・少女の気持ちをリアルに描いていると思った。中学生という子供でも大人でもない難しい世代の人を音楽を通して成長させた物語だと感じた。  
MARUZEN&ジュンク堂渋谷店 ● 女性スタッフ(20歳)

実は女の子の輝く映画? 所々男の子ガンバ! と思ったけれど最後の演奏は素晴らしかったです。みずみずしい光と浜松の街並みが印象的でした。  
BOOKEXPRESS エキュート品川サウス店 ● 男性スタッフ(32歳)

言葉にならない感情を、ましてや「140字」や「いいね!」でおさまりきれない共感を、独特の静かなタッチで演出する妙。映像と演奏に加え、青くて若い香り、ついでに僕の「あの頃」までもシクロしちゃいました。  
静岡シネ・ギャラリー ● 川口澄生

元バスケット部の女性も元技術部の男性も、元軟式テニス部の私も「楽隊のうさぎ」がとても好きです。それはたぶん、中学生の時に夢中になった事や異性や友だちとの交流や、あの頃の心の揺れを思い出し、当時の周りの大人たちがどのように自分たちと関わっていたか、この映画を見て気づいたためでしょう。まして吹奏楽経験者や彼らと過ごしたことがある大人なら、この映画はきっと大切な一本になりますよ。  
新潟・市民映画館シネ・ウィンド ● 井上経久

「映画」は時に、大切な「宝物」をプレゼントしてくれる。「宝物」を手にした彼らは、ピョンピョンと自由に大きく跳ねていた。『帰郷部』だった僕は、映画の中で共に成長していく彼らを見て、羨ましく、少し嫉妬した。NPO法人コミュニティシネマ松本 CINEMAセレクト ● 宮崎善文

中学生の、今よりも1日が長く感じていたあの頃のごく普通な日常。それが今思えばフワフワキラキラしていたのだと気づきました。私が中学生だった時に、勉強もたまたま先生がいたら、私も吹奏楽やってたのになあ。  
SHIBUYA TSUTAYA ● 女性スタッフ(24歳)

主人公が吹奏楽とまわりの人物との関わりを通して、ゆっくりと心の中にある想いを育てていく様子に少しもだましながらも楽しく観させていただきました。中学生のころの自分に主人公がそっくりで主人公の心情にとても共感できました。個人的にはうさぎがとても気になります。  
啓文堂書店仙川店 ● 女性スタッフ(28歳)

透明な光がスクリーンに溢れている。演技などしたことのない子が、楽器などやったことのない子が、映画の中でもどどと変化を遂げていく。友だちとさぐりさぐり音を合わせていくのってきっととても楽しく心が沸き立つようなことなんだろうなってこどもたちが羨ましくなった。こどもたちの瑞々しい時間を奇跡のように映し出した映画。  
金沢シネモンド ● 土肥悦子


ただ音楽へ、音楽のほうへ、天使が降り立つようなレッスンが、甘く懐かしい光とともにふり注ぎました。  
名古屋シネマテーク ● 仁藤由美

オーディションで選ばれた46人の中学生が撮影期間1年間の中で劇中の中学の吹奏楽部員と同様に成長していく様子をドキュメンタルなタッチで描きだす。そこには決して劇的な要素はないかもしれないがリアルな姿が映し出す。  
第七藝術劇場 ● 松村 厚

私、いい大人なのに、主人公のかっちゃんと一緒に、自分で自分のこと決めていくのを真剣に悩みました。迷って、何となく決めて、でも一歩は確実に踏み出さなきゃいけない!! 楽しかった!! いい風が吹いてきました。  
大分シネマ5 ● 大西明美

高校の時、吹奏楽部でした。ホルストの〈第一組曲〉も演奏したこともあります。子供たちの自然な演技が大変よかったです。演奏もだんだん上手になりますよね。吹奏楽ファンは観たくなると思います。先生のオリジナル曲良かったですね。  
長谷川書店ネスパ店 ● 女性スタッフ(40歳)

**原作紹介**  
毎日がプラス! プラス!! プラス!!!  
吹奏楽少年の成長物語。  
忘れてませんか、伸び盛りの輝きを。  
中沢けい 著  
●定価578円(税込)  
新潮文庫より絶賛発売中!



# この冬、全国のミニシアターがイチおしする、爽やかな感動作。



毎日がプラス! プラス!! プラス!!!  
吹奏楽にめぐりあった子どもたちの成長物語。

「楽隊のうさぎ」(新潮文庫刊) 「私は猫スター」[ゲグゲの女房]  
中沢けい原作 × 鈴木卓爾監督

# 12.14(土)いよいよ演奏開始! 全国共通鑑賞券¥1,400(税込) 絶賛発売中!

12/14(土)より						
ユーロスペース 03(3461)0211	新宿武蔵野館 03(3354)5670	横浜シネマ・ジャック&ベティ 045(243)9800	川崎市アートセンター 044(955)0107	浜松 シネマイーラ 053(489)5539	静岡 シネ・ギャラリー 054(250)0283	シネプラザサントムーン 055(983)1800
12/21(土)より		12/23(祝)より		12/28(土)より		
シネマテークたかさき 027(325)1744	名古屋シネマテーク 052(733)3959	第七藝術劇場 06(6302)2073	シネ・ヌーヴォ 06(6582)1416	札幌 シアターキノ 011(231)9355	福岡 KBCシネマ 092(751)4268	新潟 シネ・ウィンド 025(243)5530
順次公開						
函館 シネマイリス 0138(31)6761	苫小牧シネマトーラス 0144(37)8182	フォーラム八戸 0178(38)0035	フォーラム盛岡 019(622)4770	フォーラム山形 023(632)3220	フォーラム福島 024(533)1515	千葉劇場 024(533)1515
松本CINEMAセレクト 0263(98)4928	十日町シネマパラダイス 025(752)7505	フォルツァ総曲輪 076(493)8815	金沢シネモンド 076(220)5007	京都市みなみ会館 075(661)3993	神戸アドレッシセンター 078(512)5500	岡山シネマ・クレール 086(231)0019
シネマ尾道 0848(24)8222	山口情報芸術センター 083(901)2222	高松 ホール・ソレイユ 089(933)9240	松山シネマルナティック 089(933)9240	熊本 Denkikan 096(352)2121	大分 シネマ5 097(536)4512	宮崎キネマ館 0985(28)1162
				鹿児島 ガーデンシネマ 099(222)8746	那覇 桜坂劇場 098(860)9555	

# 楽隊のうさぎ

川崎航星

井手しあん ニキ 鶴見紗綾 佐藤菜月 秋口響哉 大原光太郎 野沢美月 塩谷文部 楠 雅斗 甲斐萌夢 鈴木早暁 佐藤真夕 奥野稚子 百鬼佑斗 湯浅フェリペ 宮崎将 山田真歩 寺十 吾 小梅 徳井優 井浦新 鈴木羽羽

原作:中沢けい『楽隊のうさぎ』(新潮文庫刊) 監督:鈴木卓爾 エグゼクティブプロデューサー:榎本雅之 企画・プロデュース:越川道夫 プロデューサー:小林三四郎/野前健一郎/多井久晃 アソシエイトプロデューサー:池谷浩治/松下克己/伊藤重樹 脚本:大石三知子 音楽監督:磯田健一郎 撮影:戸田義久 照明:山本浩資 美術:平井淳郎 録音:山本タカアキ ヘアメイク:橋本中二 特殊造形:百武明 編集:梶井良賢 助監督:松尾崇/張元春 監督補:越川道夫 制作担当:大川晋史 アニメーションプロデューサー:神林理充子 制作:スローラーナー 企画協力:新潮社 配給:太業/シネマ・ジャンゴート/浜松市民映画館シネマイーラ 後援:浜松市/浜松市教育委員会/浜松商工会議所/(公財)浜松市文化振興財団/静岡県映画興行協会 特別協力:マツダ株式会社 製作:「楽隊のうさぎ」製作委員会 助成:文芸文化芸術振興補助金 2013年/日本映画/HD作品/カラー/DCP/5.1ch/16:9-149分37秒 ©2013MovieHouse 文部科学省選定(少年・児童・児童) (5)